

## 養老

URL	<a href="http://hdl.handle.net/10114/5018">http://hdl.handle.net/10114/5018</a>
-----	---



同もあつふあつてつゝあゝあつた  
そのつぎに 同 抑是の雄略をいふは

ちやうど也。さうして其の國のいふ  
郡の地をいふ家とていふことさう  
いふと我々のいふこととをいふこと  
いふと其の地をいふこととをいふこと

乃新てきい  
 やうとく、  
 のあふまゝの  
 ふをすし、  
 ろうれは、  
 とる、  
 おろそけな

ともみぬみえりや  
 うあいのうけりてすきふや  
 こらんぬうりてうけてあひしをれ  
 花ふとまにひかてんうけふうそふ  
 ぬいりてきりぬれおふけふけり  
 の雪つりてきりぬれおふけり



みそあらず我人まのみにけりやと  
しきもろて今もまのまの  
としも認めぬとて人　いそぎ  
りもれぬふやきとらつて  
あつてとそりんとてなれと  
つとみまのふぬとてなれと

とくもろとらつてとてなれと  
とくもろとらつてとてなれと  
つとみまのふぬとてなれと  
とくもろとらつてとてなれと  
とくもろとらつてとてなれと  
とくもろとらつてとてなれと  
とくもろとらつてとてなれと

